

二川小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・「ぼくたち わたしたちのふるさと 二川」を活動のテーマとして、ESDを地域の人とのつながりを深めて、歴史や文化、防災について探究する取り組みと捉え、今日的課題を自分のものとして把握し、解決に向けて自ら動き出せる子どもの育成を目標とした。コロナ過のもと、具体的には、地域の行事への関わり、防災に関わる方たちとの交流を柱に、本年度は、①二川宿本陣まつりに係わる学習、②防災に係わる学習を行った。

・活動の実際

① 二川宿本陣まつりに係わる活動（6年）

東海道の宿場があった本校区では、大名行列を再現した「二川宿本陣まつり」が毎年11月に開催されている。本年度も、まつりそのものが中止となったため、本陣まつりに関する学習を社会科学習の一環と位置付けて実践した。

学習では、本陣の成り立ちや当時の人々の生活の様子、その時代を生きた人々の思いや願い等を当時の人々の気持ちに寄り添った実践を心がけた。

実践を通して当時の人々の思いを受けとめることができ、来年度の本陣まつりにつなげることもできた。このことを現在の5年生にきちんと伝え、来年度にむけて主体的に参加できるようにしたいと考える。あわせて、地域の人たちとの結びつきもきちんと行い、地域一体となった行事としてこの二川宿本陣まつりをさらに発展させていきたい。

②防災に係る学習（3年）

昨年度防災に関する活動を行い、災害の怖さを身をもって知った子どもたちは、自分を守るための備え（自助）みんなの命も守るための備え（共助）が大切であることを学んだ。

本年度もこの実践を引き継ぎ、朝の活動である「セーフティータイム」で災害の恐ろしさやその対応方法を学び、総合的な学習の時間を活用してさらに学びを深めることにした。

実際の災害時には少しでも実践が役立ち、地域の活動に貢献できる子どもになってほしいと考えている。